

## もう、悩まない！『石原健のHOTEL LOVERS』

## ～温故知新をモットーに、その先の新しいことを見出し、チャレンジの連鎖を～ 業界で働く人が幸せで、プライドを持ち、 野心をもって働ける業界になるよう尽力したい

2023年9月、東京・銀座の地で創業90周年を迎える全線座(株)。創業者 樋口大祐(芸名 樋口旭琅)氏は、大正5年、映画説明者(無声映画弁士)となり、昭和2年～4年ニューヨークのプレイハウス劇場等において日本映画(松竹映画「人の世の姿」)を上映。帰国後の昭和5年「神田南明座」を経営。以後、早稲田・中野・目黒に映画館を手掛け、昭和13年現在の銀座国際ホテルの地に「銀座全線座」を開館。開館から45年後の平成13年、ホテルとして生まれ変わり、今もなお銀座8丁目でホテル経営を継続している。そこで今回はスローガンである『現状打破』を胸に創業100周年を目指し、その意を受け継ぎ挑戦し続けている樋口敬祐常務取締役役に新たな挑戦などをお聞きした。



銀座国際ホテル  
全線座(株) 常務取締役  
樋口 敬祐 氏

〒104-0061 東京都中央区銀座8-7-13  
URL : <https://www.ginkoku.co.jp>

(プロフィール) 1984(昭和59)年生まれ。早稲田大学大学院経営管理研究科修了(MBA)。2008(平成20)年株JTB 首都圏(現 株JTB)入社。法人営業に従事。企業の福利厚生目的の社員旅行から優良従業員の報奨旅行などの企画提案、添乗業務を行なう。2012(平成24)年 JTB (THAILAND) LTD. へ出向(3年間滞在)。日本行きVIPツアーから、タイで開催される国際会議の企画・運営、タイ工場の開所式などのイベント企画・運営、ASEANの投資視察ツアー企画・実施などに携わる。2017(平成29)年全線座(株)入社。現在はホテル営業グループの事業責任者を務める。2023(令和5)年、全日本ホテル連盟(ANHA)青年部部長に就任。総務委員会副委員長、関東支部世話人も務めている。

### 紀行小説「深夜特急」にあこがれ バックパッカーの旅を

**石原** 樋口常務との出会いは、同じ一般社団法人全日本ホテル連盟(ANHA 清水嗣能会長)に加盟されている、“ホテルサーブ渋谷”の花岡有希さんからの紹介で2年前にお会いしたのがきっかけです。彼女は、私が横浜のホテル時代に活動していたHSN(ホテル・セールス・ネットワーク)会に参加されて以来お付き合いしており、アルバイトに始まり現在は幹部として取締役総支配人を務められています。樋口常務は私同様お酒が大好きで、ワインにおいてはWSET Level 3まで取得されましたね。現在、ファミリー企業として銀座国際ホテルの運営を切り盛りされていますが、はじめに激化するホテル戦線の中、受け継ぐと決意された経緯をお聞かせください。

**樋口** ホテル業界に飛び込んだのは石原社長の言われる通り、まずはファミリー企業として東京・銀座の地にホテル業を営んでいたことに始まります。しかし、それ以上にJTB時代に国内外の多くのホテルマンと触れ合い、一緒にお仕事をさせていただき、とても尊敬していたあこがれの職業だったからです。

**石原** 将来的に継がれることを前提にホテル業と関連する旅行業を選ばれたのですか。

**樋口** 私自身旅が大好きだったことから、

旅行会社を選択しました。作家・沢木耕太郎氏による、香港からはじまり、インドネシアを経由しイギリスのロンドンまでをバスだけを使って一人旅する紀行小説『深夜特急』が大好きで、バックパッカーで一人旅をしていました。旅行会社では旅とプロデュースにより旅の力で皆を幸せにしたいという思いで務めておりました。2012年、アジア地域への海外出向のチャンスをいただき、出向先としてタイを希望し、3年間在籍することができたのです。タイ語もできず、何も分からない国に飛び込みましたが、当時は先進国を目指して発展機運が高まっていたことで、活気あふれた職場で充実した時間を過ごすことができました。在住時にミャンマーのマンダレーから中国の昆明へ陸路で移動したり、タイからラオス、ベトナムへとアジアの国を同様に陸路で移動するなど、公私も充実していました。

### 滞在中、いつでも楽しめる ワインサービス企画

**石原** まさに御社のスローガンである『現状打破』を有言実行されていますね。

**樋口** 私自身のモットーが『温故知新』です。現状維持でも何もしないことは後退することですので、新しいことに積極的にチャレンジをしています。しかし、時代の流行に乗った浮利だけを追うことはし



ません。物事の脈々と受ける継がれている部分(根)の理解の努め、良い部分は生かしながら、その先に新しいことを見出し、チャレンジすることを大切にしています。また、失敗したことも、学びになったと思えば成功であると考えています。入社して間もないころ、お客様の名前を間違えてしまい不快にさせたことが悔しくて、二度としないようにしようと思ったことは今でもはっきり覚えています。

**石原** そのチャレンジ精神が銀座国際ホテルでのワインサービスにつながっているのですね。ところでワインに興味を持たれたきっかけはどのようなことだったのですか。

**樋口** お世話になっている方のご自宅でチリワインを振舞っていただき、想像を超えたおいしさに衝撃を覚えたことに始まります。そのとき“世界のワインにもっと触れたい”と思いワインスクールに飛び込んだのです。世界基準の教養を身につけようと思い、ワインの勉強に集中したのです。おいしく飲むだけではなく、どのようにワインが造られているのか、テロワールの個性や土地の理解などを学びながらワインに触れることで没頭するようになり、WSET LEVEL 3 AWARD IN WINES を取得することができました。ホテルでは宿泊プランについているワインパスポートをお持ちの方はチェックインからチェックアウトま

で、パスポートをご提示いただければいつでも、何度でも楽しんでいただけるコーナーもご用意しています。

### 世界から選ばれる日本になるために 点から面へ

**石原** ホテルで厳選された日本ワインが飲み放題は意外性もあり、ワイン好きな方にとっては、かなりうれしいサービスです。この奇想天外なアイデアこそ、これからますます競争が激化するホテル業界の生きる道であるとともに、次世代をにう若者に向けたホテル業の魅力を伝えるきっかけとなりますね。次世代に向けて一言お願いいたします。

**樋口** 新たなホテル業の魅力を発見するためにも、ホテル業界に留まらず、さまざまな世界に触れてほしいと思います。私は20代で海外勤務をさせていただき、社会のことや他業界のことを教えていただきました。ビジネススクールでも同世代のメンバーと切磋琢磨する過程で多くの学びと刺激を受けました。日常業務で多忙な中であっても、新たなことへ恐れず挑戦すること、また自ら新しい環境へ飛び込むことで成長してほしいと思います。

そして多様な経験を積んで個人が成長することが、宿泊業界の発展に寄与することであると思います。そのためにも当ホテルでは個性を伸ばしていくためになるべく否定しないようにすること、美的凝視を皆で心掛けるようにし、それぞれの個

性をいかしながら常に前進していくチームワーク力を大切にしています。

**石原** 同じエリアの中で個性をいかにして伸ばしていくことができるかは、今後のホテル業界においてとても大切なことです。お客さまにまたご利用いただくためには何をすべきかを常に考え、また地域と一体となりながら成長していくことが、求められていると思います。最後に一言、樋口常務の熱い思いをお聞かせください。

**樋口** 石原社長のおっしゃる通りで、これからはますます国内だけではなく世界がホテル業の舞台となります。まずは世界の旅行者や企業に旅やビジネスとして日本という国に興味を持っていただけるか、日本を選んでいただけるかということです。そのためには、ホテル業界だけではなくさまざまな企業や地域と連携し、人脈を構築し、日本文化を学び、過疎化や高齢化やさまざまな風評で厳しい地域もあるなかで、その地域を盛り上げていくために、皆で大きな面としてアピールしていくことが大切だと思います。

そして何より私自身、この業界が大好きなので、業界で働く人が幸せで、プライドを持ち、野心をもって働ける業界になるよう尽力したいと思います。

**石原** これまで培われた経験、そして業界団体青年部の部長としてその思いをカタチにし、魅力あふれるホテル業界、日本の観光産業変革への実現に期待しております。

### (株)ホスピタリティ デザイン 横浜 代表取締役 石原 健 氏



URL : <https://www.hospdy.com/>

(プロフィール) 桜美林大学経済学部卒業/日本ホテルスクール卒業/ホテル産業経営塾卒塾(第一期生)。ホテル センチュリー ハイアット(現ハイアットリージェンシー東京)で4年のキャリアを積み、1989(平成元)年、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルの開業準備室に、第1期生として入社。開業後は主にセールスとして活動。39歳で販売担当部長となり、宿泊、宴会、婚礼、レストラン、イベント等の全ての販売を行なう。国内外からのVIPに対するおもてなしを行ない、4度におたる皇室接遇担当の栄誉も授かる。また横浜青年会議所(JCI)のメンバーとしても活動し、2004年には100%出席賞を受賞。東日本大震災後、ウェスティンホテル仙台へ赴任、セールス&マーケティング部長として、総支配人の不在時には代行も務め、3年2カ月間復興支援の一端を担う。2014(平成26)年、(株)ホスピタリティ デザイン 横浜を設立、代表取締役に就任。現在に至る。厚生労働省 事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会 会長、HSN(ホテルセールスネットワーク)会顧問、産業能率大学 兼任教員など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。